

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 12月 10日

放課後サポートクラブ
事業所名： えがお

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			法令を遵守し、基準以上のスペースを確保しています。	
	② 職員の配置数は適切である	6			国で定められている基準より多い人数の職員配置をしています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3			
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		日々のミーティング、ケース会議、職員会議等を行い、目標設定と、振り返りを計画的に行っています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			アンケートを実施し、保護者の方の意向の把握に努めます。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			毎年、ホームページにて公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			6	現時点では行っていません。	今後検討をしていきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			外部研修に参加したり、所内においても定期的に研修を行っています。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		アセスメントは6か月に1回以上、見直しを行っています。子どもたちの様子に変化が見られた時は、期間に関係なく行っています。	
適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			個々に応じたアセスメントツールを使用しています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6			ミーティング、会議等で支援の方法、活動の進め方も含め、チームで行っています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			月ごとに活動プログラムを計画することで固定化しないようにしています。SST、コグトレ、創作、体操、パソコン等様々な活動を取り入れています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			休日、長期休暇においては、外出活動など平日では取り組むことができない体験活動に積極的に取り組んでいます。	

関係機関や保護者との連携	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	集団遊びや個別で集中した活動等、組み合わせて個々に合った活動を提供できるように工夫しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		支援の前後のミーティングにおいて、支援方法、活動の進め方、振り返り等を行い、すべてを記録し、次のステップへと繋げています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	6か月に1回以上、見直しをしています。毎日振り返りの中で計画の見直しの重要性を感じた時は、保護者の方や学校の担任と情報共有を行い判断します。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	1	自立支援、日常生活充実の為の活動、創作、コミュニケーション、社会性の向上等の内容に取り組んでいます。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童発達支援管理責任者、または児童の担当スタッフが参加しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6		学校迎え時、児童担任と、自宅送り時、保護者の方と情報交換を行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				現在、該当児童はいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		利用開始前の情報共有会に参加、または、児童担当の相談員を通して情報共有をしています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6			現在、該当児童はいませんが、今後移行があれば情報を提供する場合があります。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		児童発達支援センター主催の研修に参加しています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	4	現時点ではありません。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	6		参加可能な時間帯であれば参加しています。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		自宅送り時に保護者の方へ様子をお伝えするようにしています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3	3		今後も、保護者の方から相談等があれば、その都度対応をしていきます。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時に説明をしています。また、問い合わせ等については、都度職員が丁寧に説明しています。	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			自宅送迎時等に行っています。また、必要に応じて別日に対応しています。	
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			6		希望に応じて、検討をしていきます。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情があった場合は、苦情受付、解決担当につなげ迅速かつ適切に対応するよう努めます。	
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3			ホームページにて発信します。
	③5	個人情報に十分注意している	6			個人情報の取り扱いには十分注意しています。	
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			絵カードやスケジュールカード、ジェスチャー等、児童のニーズに沿って支援を行うように努めています。	
③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	5		今後検討をしていきます。	
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		1	各種マニュアルを策定し、マニュアルに沿って職員間でシュミレーションを行っています。	
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			定期的に児童を含めた避難訓練を行っています。	ホームページにて発信します。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			外部研修に参加、また外部研修に参加した職員が報告を兼ねた所内研修を行っています。	
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			現在身体拘束を行うことはありませんが、契約時に身体拘束を行う場合には個別支援計画書に記載の上、保護者の方の了解を得た後行うことの説明を行っています。	
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			契約時に確認し、職員間で共有しています。	
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			報告書をもとに、都度職員間で対応協議と情報共有を行っています。	